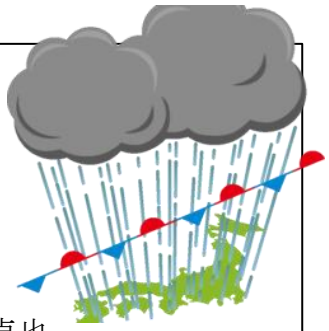
長崎市立大園小学校　校長室だより　Ｎｏ101

6月 今日の一言



８．６．１１　校長　渕上　卓也

「6月の危機」には「6月の聞き」で



前号が「Ｎｏ１００！！」。６年生の女の子からは「１００号おめでとうございます。」「これからも、がんばってください。」と嬉しい言葉を貰いました。また、１００枚すべてスクラップしている保護者がいらっしゃるというお話を担任の先生からお聞きして、これもまた嬉しかったです。お付き合いいただけていることに感謝です。

さて、例年この時期にお伝えするのですが、今日は保護者の皆様と「子どもたちの現状」と「かかわり方」を共有したく、この内容を書かせていただきました。

学校には、「６月の危機」という言葉があります。梅雨時季で、子どもたちにストレスが溜まってくる時期です。中だるみの時期とも言えるかもしれません。いじめ、不登校、暴力などの問題が発生しやすいので注意が必要です。確かに大園小学校においても子どもたちがなかなか落ち着かず、先生方は日々対応に追われている状況です。子どもの気持ちに寄り添うこと、子どもが発するサインを見逃さないこと，いじめの早期発見早期対応に努めることなど，日々の取組に一層力を注ぐよう大園小学校の先生方と共通理解を図っているところです。

「６月」は、子どもだけでなく大人もストレスを感じる時期ですよね。渕上も、イライラすることもしばしば！！我々大人もストレスと上手に付き合う必要があります。落ち着かない子どもたちを見て、感情的にガミガミ叱ってしまう度、渕上は反省しています。

表題に「６月の聞き」と書きました。「ダメなものはダメ」の指導は必要ですが、大人からの一方的な話ではなく、子ども自身にしっかり振り返らせ、「どうして？」「なぜ？」「原因は？」「どうすればよかった？」「これからどうする？」を聞いてあげる、「６月の聞き」も大切だと感じています。「話せば」「聞いてもらえたら」子どものストレスも軽減されるものです。理解してくれる大人がいることが、安心感につながります。「子どもたちが話す時間」「大人が聞く時間」を大切にする６月にしていきたいと思います。

ただし、子どもは本能的に自分を守ろうとします。どの子もそうです。「人は人、自分の気持ちを話してね！！」から「６月の聞き」をスタートすることが重要です。まずは、自分自身を見つめることですね。ご家庭でもよろしくお願いします。

＜今日の一句＞

うん！！うん！！と
そうね！！そうね！！の
相槌で　　卓也

